

キンダーブック じゅにあ 9月号



表紙の
絵から

大きな満月の夜に、月見だんごを用意しているちゅうくん。うさぎさんたちも遊びにきて、楽しいお月見の始まりです。「満月を見たことはある?」「ほかにはどんな形の月があるかな?」などと声をかけて、月の観察やお月見に話題を広げてみてください。



じしんの ときは…

ねらい 地震が起きたときの行動を身につけましょう。

「地震が起きたとき、ちゅうくんたちはどうしているかな?」「遊んでいたおもちゃはどうしたかな?」「どこに集まればいいのか?」などと問いかけて、子どもたち自身が考えられるようにします。非常時の約束ごとをみんなでいっしょに確認していきましょう。



「ちゅうくんたちが、だんごむしのポーズをしているね」と、地震が起きたときの行動に注目しましょう。頭を守ることのたいせつさを伝え、だんごむしのポーズを実際にしたり、ひとりで防災頭巾をかぶる練習をしたりするのもよいですね。



ひこうき ビューン!



ねらい 飛行機に親しみを持ち、空を飛ばまねをして遊びましょう。

つかい方のポイント 「飛行機はどんな形かな?」「歩いている人と比べると、とても大きいね」などと話しながら写真を見てみましょう。また「飛行機はどうやって飛んでいるのかな?」と尋ねて、全身で飛ばまねをしてみてもよいですね。



うさぎたちの おつきみ



ねらい 月の形の変化を楽しみ、お月見に関心を持ちましょう。

つかい方のポイント うさぎたちの想像を参考にして、「お月様の形、何に見えるかな?」と考えながら、ページをめくってみましょう。月の形は毎日変化していくことを話すと、月の満ち欠けに興味をもつきっかけになりそうです。

「キンダーブックじゅにあ」を 保育にご活用ください!

絵本をつかった 指導計画の文例

◆コーナー	◆子どもが経験すること	◆保育者の配慮	◆5領域
 「じしんのときは…」	- 避難訓練に参加する。 - 頭を守るポーズを知る。 - 防災頭巾を自分でかぶる。	- 避難訓練のたいせつさを話し、地震が起きたときの約束ごとを確認する。 - 保育者が日常とは違った声の大きさや表情などで真剣な姿を見せ、非常時だとわかるようにする。 - なぜ頭を守るポーズをしたり、防災頭巾をかぶったりするのかを伝えて、いっしょに練習する。	健康 言葉 人間関係
 「うさぎたちの おつきみ」	- 月の形が変わることを知る。 - 十五夜ということばを知る。	- 月の形が変化していくことを伝え、子どもたちが月に対して興味をもてるようにする。 - お月様の話をきっかけに、絵本や写真などをつかい、十五夜がどんな日なのか子どもにわかりやすいように伝える。	環境 表現 言葉